



世の中には不思議で分かりづら  
いことがたくさんあります。自然、  
科学、歴史など、詳しい先生に解  
き明かしてもらいましょう。

# 台風被害減らすため 山、海、空に監視役

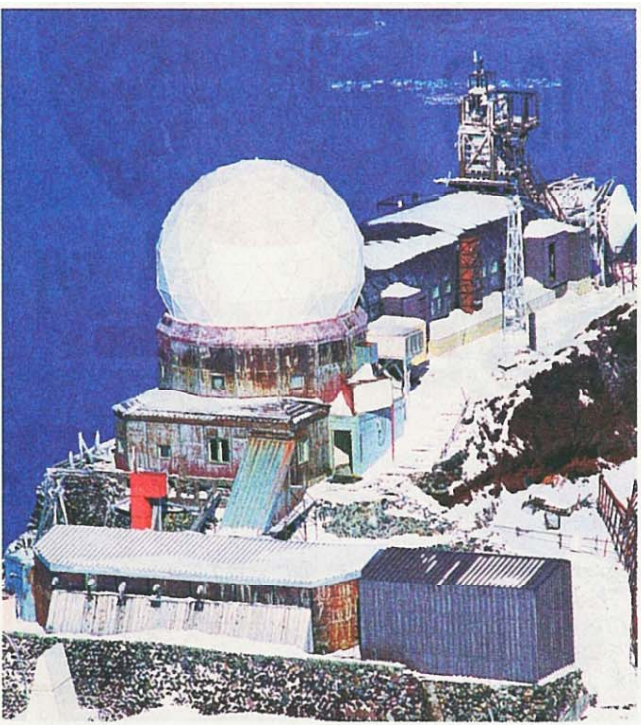
季節は秋になり、さわやかな日々が続いているかと思えます。と同時に、あの激しい雨と風をもたらす雲の塊、台風がやってくる時期でもありません。台風は時に非常に大きな災害をもたらします。1959年には、富士川沿いを北上した台風や伊勢湾台風によって、甲府盆地で大きな水害が何度も発生し、非常に大きな被害が生じました。先日も日本列島を通過した台風により日本各地で水害が起こったばかりです。

列島からはるか南の父島近くまでの雨を観測する、当時では世界一の性能を持つレーダーを富士山の頂上に設置したのです。短い時間で台風全体を捉えることから、台風の正確な情報を素早く得ることができました。これにより、事前の台風の対策がより充実してできるようになり、被害が減少しました。富士山レーダーは、99年まで台風の監視役として活躍し、現在は宇宙から雲を撮影する気象衛星にその役目を任せています。

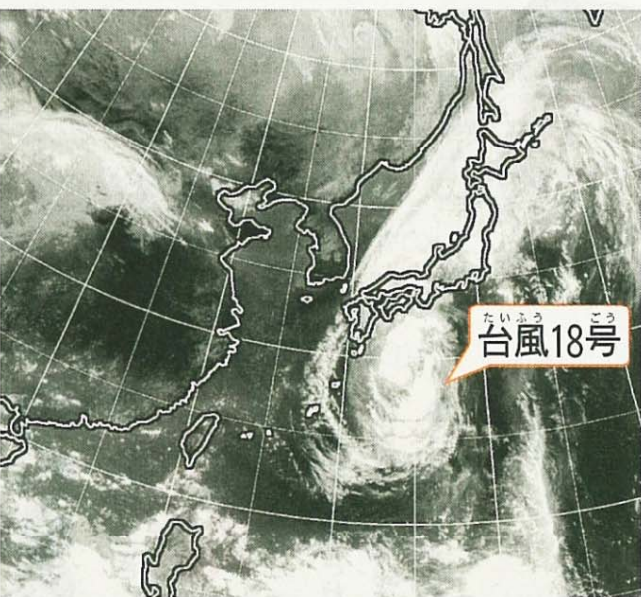
これまでの観測、そしてこれからの観測から、台風が日本列島にやってくる理由や、たくさん雨を降らせる理由など、台風に潜む多くの謎の解明につながるかもしれません。(山梨大学大学院 国際流域環境研究センター 特任助教 佐野哲也)

富士山頂上で観測  
台風とは、日本の南の

多くの謎の解明へ  
この他にも、台風を知



1999年に廃止された、気象庁のレーダーが納まる富士山頂のレーダードーム



気象衛星ひまわりがとらえた台風18号の雲 (9月15日午前11時現在)